

令和3年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

目 次

◆ 令和3年度事業計画書	1
I 公益目的事業		
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	4
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
3 情報提供活動	8
◆ 令和3年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 令和3年度資金計画書	21

令和 3 年度事業計画書

事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

なお、令和2年度において、新型コロナ感染防止のため中止とした事業については、令和3年度では、事業期間における感染状況により実施を検討する。

また、その他の事業においても、感染状況や社会情勢により、内容を一部変更及び中止する場合がある。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業（児童・生徒、一部一般を含む）

ア サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

小学校高学年から中学生までを対象とし、早朝の千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、千歳水族館においてサケシーズンならではの宿泊学習を行う。
(10月上旬、1泊2日)

イ サケふるセミナー

土・日・祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象にサケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムのほか、外部機関と連携した教室を開催する。

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成講習会を初級・中級・上級の3段階に分けて実施する。また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動に必要な基礎知識を学ぶ。(4月、8月に前期2回、12月、2月に後期2回の合計4回)

イ ジュニア・リーダー交流会（新規事業）

講習会以外にジュニア・リーダー同士が集う場を設け、シニア・リーダーも参加して互いに交流しながら、シニア・リーダーの活動内容について学び、リーダーとしての意識を高める。(不定期)

(3) シニア・リーダー活動事業

ア シニア・リーダー研修会

① ジュニアリーダーコース Hokkaido

道内で活動しているリーダーが参加して、地域活動に主体的に参画する意欲を高め、お互いの交流を図る。(9月中旬)

イ シニア・リーダー交流会

① 石狩管内青少年リーダーサークル交流会

石狩管内の各市町で活躍するリーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る。(不定期)

ウ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、千歳水族館で開催するハロウィンイベントの支援など、青少年育成に係る様々な事業への支援活動を積極的に行う。(随時)

(4) 夏休み自然体験教室～水族館編～(新規事業)

小学校高学年から中学生までを対象とし、「千歳水族館」または「日高青少年自然の家」に宿泊して自然体験教室を行う。令和3年度は千歳水族館に宿泊し、千歳市近郊で野外活動などを行い、水族館では夜の展示生物観察や飼育業務などを体験する。(夏休み期間中、1泊2日)

(5) 体験学習

小学生及びその保護者を対象に、千歳市の特産食材やサケなどの生物、自然に関する観察会や体験教室などを行い、地域への関心、知識を深める。
(6月、10月)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施を検討する事業

事業名	内容
(3) シニア・リーダー活動事業	
ア シニア・リーダー研修会	
②北海道地域子ども会リーダー研修会	高校生リーダーが「北海道子どもキャンプ」の活動支援を行いながら、リーダーとしての資質向上を図る。(8月中旬)
③石狩管内地域シニアリーダー研修会	石狩管内子ども会及びシニアリーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術交換研修や活動の情報交換を行いながら、子ども会活動を推進、支援するリーダーとしての資質向上を目指す。(9月中旬)
④シニア・リーダー「つばさ」研修会	事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、子ども会活動や千歳水族館学習活動の支援のほか、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える能力の育成を図る。(3月中旬)
イ シニア・リーダー交流会	
②市町村ジュニアリーダー合同研修交流会	道内各地のリーダーとの交流、情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る。(3月下旬)
エ シニア・リーダー「つばさ」わくわく体験教室	リーダー活動で養った経験・資質を活かして、千歳水族館の入館者や体験教室の参加者を対象に工作教室などを開催しながら、自分たちの活動について広くPRする。(不定期)
(6) 冬休み体験教室	冬休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではの体験や社会見学等を通して、団体生活の規律を身に付ける。(1月上旬)

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、千歳青少年育成推進員を設置し、社会教育関連事業や地域の子どもの活動に協力する。(委嘱期間2年・令和3年度は委嘱2年目)

(2) ラジオ体操講習会(千歳市子ども会育成連合会共催)

夏休みの前に正しいラジオ体操の指導方法を学ぶため、町内会等の指導者、ラジオ体操に興味のある一般の方を対象に、NHKラジオ・テレビ体操の講師を迎えて講習会を開催する。(7月上旬)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施を検討する事業

(3)～(5)は千歳市子ども会育成連合会及び千歳市シニア・リーダー「つばさ」共催)

事業名	内容
(3) 緑の村キャンプ大会	野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の友情を深めるため、町内会と一般の2回開催する。一般は小学校高学年から中学校3年生までを対象に実施する。(7月中旬～下旬)
(4) ちとせの子どもクリスマスの集い	幼児、小学校・中学校の子どもたちを対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して、相互の親睦を深める。(12月上旬)
(5) ちとせっ子雪あそび	冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上・健康増進を図るため、小中学生を対象に、道の駅サーモンパーク千歳のイベント広場を中心に屋外でのレクリエーションゲームを行う。(2月上旬)

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

小中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」、「人工採卵・受精体験」、「水生生物観察」、「アイヌ文化学習」など、地域特性を生かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。

(2) 職業体験への協力

小中学校の職業体験や、専門学校生、大学生のインターンシップ、博物館相当施設として学芸員実習などを受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流事業に協力する。(1月～3月末)

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

科学の祭典千歳大会など市内や札幌市などで開催される各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展する。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

水量 266 ㍓の大水槽をはじめとする大小約 40 基の水槽で、淡水・汽水域に生息する水生生物約 100 種を展示する。サケ科魚類だけでなく、国内外の淡水魚類や水生植物、鳥類のカイツブリ、爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を中心に幅広く展示し、生物の多様性や水辺生物への興味関心を高める。

イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類のタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

ウ 大型スクリーン解説映像

およそ 100 インチの大型スクリーンを用い、千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、約 5 分間の映像で紹介する。映像は 2 ブース設け、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、四季折々の環境の変化などを観察する。また、DVD やコンピュータを用いた映像機器などにより、サケの生態や水中観察窓の生物などに関する解説コーナーを設置し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳におけるサケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、また千歳アイヌの歴史や文化などを中心にパネルや映像を使って解説する。また、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピも紹介する。

カ 学習室

液晶プロジェクターや 50 インチプラズマディスプレイなどの映像機器を利用し、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時の講話や質問対応、雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図っていく。

(2) 企画展示

ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示(4~5月「仮 メダカ展」、7~8月「仮 お寿司ネタ大集合」)や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを開催し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、ベニザケなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程やふ化、仔魚から稚魚への成長の様子など、各季節の成長段階に合わせた展示を行う。

(3) 各種体験学習及びイベント

ア 水族館裏方探検隊(バックヤードツアー)

希望する学校団体やバックツアーなどを対象に、水族館の裏側探検やエサやり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアやしおりなどの製作を通じ、サケを無駄なく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態の解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工ふ化放流事業への理解を深める。(3月~5月)

エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせた特別展示を行うとともに、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

オ 飼育係ちょこっと体験

冬休みや春休み、土・日・祝日などを中心に、有料でエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館の飼育業務に関する体験を行う。

カ 海と日本 Project 関連事業

回転寿司の北々亭千歳店と協力し、寿司ネタを通してサケの生態や食糧資源としての現状を学ぶ。

キ インスタグラム・フォトキャンペーン

千歳水族館公式Instagramを利用し、ホームページ上で来館者が写真を投稿できるフォトキャンペーンを実施し、SNSによるフォロワー数の増加と情報拡散を図る。

ク ホタルのタベ

市内に生息するヘイケボタルについて、成虫が羽化する7月下旬から8月上旬の期間限定で、生態や生息状況等の解説とともに、飼育下における発光の様子などを観察する。

ケ アイヌ文化体験プログラム創出事業

サケと関わりの深い千歳のアイヌ文化を広く紹介するためアイヌ施策推進交付金を利用し、千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会の協力のもと、伝統楽器の製作や伝統漁具「マレク」を使用したサケ漁などの体験の他、各種解説展示やセミナーなどを開催する。

(4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努め、各種企画展やイベントを開催するとともに、次の取組を実施する。

令和3年度入館者数の目標 : 150,000人(内、有料入館者 90,000人)

ア 団体誘致活動

道内及び道外の旅行代理店等への修学旅行、団体旅行等の誘致活動、及び札幌市内や近隣市町の幼稚園・保育園・福祉施設等への営業活動の実施を予定する。

なお、新型コロナウイルス感染症が収束しない場合は、訪問による営業は自粛し、非対面によるものとし、道内外の旅行代理店等へはオンラインなどで行い、札幌市内や近隣市町の幼稚園・保育園等へは、PRパンフレット等の送付を行う。

また、道外への観光プロモーションが開催される場合は、新型コロナウイルスの収束状況をみながら参加を検討する。海外への観光プロモーションについては、参加を見合わせることにする。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、レンタカー、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行う。

ウ 多言語システムの充実

近年増加している海外からの小団体旅行(FIT)に対応するため、光ID情報提供システム“LinkRay”により、スマートフォンやタブレットにインストールする専用アプリを利用し、展示水槽や生物について英語、繁体語、簡体語、韓国語、タイ語の多言語による解説を閲覧可能とする。また受付においては、多言語に対応した音声翻訳機を接客ツールとして利用する。

エ 音声ガイドシステムによる解説(新規)

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke(ポッケ)」に、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションによるサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを登録し、入館チケットと併せ有料にて提供する。また、同ガイドに市内登録店舗にて使用可能な各種クーポンをダウンロードできる特典を付加し、水族館見学における満足度の向上を図るとともに、周辺の観光施設や店舗への周遊を促す。

オ ネットワークカメラによるライブ映像配信

入館の動機付けのため、公式ホームページにおいてリアルタイムで水中観察窓及びインディアン水車(千歳川)の状況を配信する。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料化

市内小中学生の年間パスポートの無料化を継続し、子どもたちへのサケ科魚類等の教育普及を図るとともに、保護者等同伴者も含めた入館者の拡大を図る。

キ 道の駅機能との連携強化

道の駅スタンプラリー帳持参者に対する優待料金の通年適用や、道の駅と水族館の両施設を回遊する謎解きゲームの実施など、道の駅とのコラボ企画等の強化に努める。

ク 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上及び千歳のPRを図るため、館内に売店を設置し、水族館のグッズやサケふるオリジナル商品などを提供する。

(5) サケのふるさと村教授会との連携

水族館のボランティア組織として、館内の案内業務や各種行事の支援を依頼している「千歳サケのふるさと村教授会」の活動を、メンバー募集や研修面などにおいてサポートし、さらなる連携強化に努める。

2 年間パスポート会員の募集

(1) 個人会員

加入日から1年間何度でも入館できるパスポートを個人に発行し、会員同伴者への団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会などの特典を設ける。

年会費： 大人・高校生 1,500円 小中学生 500円

令和3年度 個人会員 目標： 5,100人

(2) 法人会員

加入日から1年間1回5名まで何度でも入館できるパスポートを企業・団体等に発行し、6名以上の同伴者の団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会等のほか、法人名を表記したプレート水族館入口に掲示する。

年会費： 1口10,000円

令和3年度 法人会員 目標： 100口

3 情報提供活動

(1) サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月ホームページに掲載して情報を提供する。

(2) ホームページ及びSNSによる情報発信

リニューアルした公式ホームページとともに、これまで情報配信の中心としていたFacebook、Twitter、Instagramに加え、新たにYouTubeによる動画配信とLINEを活用し、SNSによる各種イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況、サケに関するQ&Aなどの情報発信を強化する。また、ネットワークカメラによる水中観察室及びインディアン水車のリアルタイムな映像を配信し、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットなど各種デバイスへも対応する。

(3) サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどのリアルタイムな情報をe-mailによるメールマガジンにて配信する。

令和 3 年度収支予算書

収 支 予 算 書 (総 括 表)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

(単位 : 千円)

大 科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	2	0	2	
③ 事業収入	62,399	0	62,399	
④ 会費収入	7,630	0	7,630	
⑤ 補助金等収入	140,702	10,772	151,474	
⑥ 施設使用料収入	0	0	0	
⑦ 雑収入	51	0	51	
事業活動収入 計 (A)	210,785	10,772	221,557	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	193,550	0	193,550	
② 管理費支出	0	10,567	10,567	
事業活動支出 計 (B)	193,550	10,567	204,117	
事業活動収支差額 (A) - (B)	17,235	205	17,440	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	24,200	0	24,200	
投資活動収入 計 (C)	24,200	0	24,200	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	33,933	205	34,138	
② 固定資産取得支出	6,930	0	6,930	
投資活動支出 計 (D)	40,863	205	41,068	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△16,663	△205	△16,868	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他財務活動支出	572	0	572	
財務活動支出 計 (F)	572	0	572	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△572	0	△572	
当期収支差額	0	0	0	

収 支 予 算 書（公益目的事業会計）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
1 基本財産利息収入	1	1	0	
② 特定資産運用収入	2	2	0	
1 特定資産利息収入	2	2	0	
③ 事業収入	62,399	101,839	△39,440	
1 教育事業収入	483	999	△516	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	61,466	100,140	△38,674	水族館入館料外
3 体験料収入	450	700	△250	餌やり体験料外
④ 会費収入	7,630	9,620	△1,990	
1 個人会員会費収入	6,630	8,820	△2,190	
2 法人会員会費収入	1,000	800	200	
⑤ 補助金等収入	140,702	129,172	11,530	
1 教育事業補助金収入	19,468	22,316	△2,848	
2 水族館管理運営事業補助金収入	87,301	63,381	23,920	
3 特定資産取得補助金収入	33,933	43,475	△9,542	
4 助成金収入	0	0	0	
⑥ 施設使用料収入	0	0	0	
1 施設使用料収入	0	0	0	
⑦ 雑収入	51	531	△480	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	50	530	△480	
事業活動収入計（A）	210,785	241,165	△30,380	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
2 事業活動支出				
① 事業費支出	193,550	207,280	△13,730	
1 教育事業費支出	19,951	23,315	△ 3,364	
役員報酬支出	320	444	△ 124	教育事業費支出の説明 人件費 16,671 車両リース等経費 993 サーモンツアー経費 83 サケふるセミナー経費 55 ジュニア・シニアリーダー講習会経費 404 夏休み自然体験教室経費 315 体験学習経費 254 青少年育成推進員経費 359 子ども会関係経費 396 その他経費 421
給料手当支出	13,828	14,018	△190	
福利厚生費支出	2,523	2,502	21	
報償費支出	369	1,624	△1,255	
旅費交通費支出	23	127	△104	
通信運搬費支出	124	193	△69	
消耗品費支出	412	988	△576	
印刷製本費支出	44	183	△139	
光熱水費支出	19	42	△23	
使用料及び賃借料支出	490	979	△489	
車両経費支出	993	994	△1	
保険料支出	72	162	△90	
手数料支出	4	4	0	
食糧費支出	257	654	△397	
原材料費支出	0	11	△11	
負担金支出	404	321	83	
雑支出	69	69	0	
2 水族館管理運営事業費支出	173,599	183,965	△10,366	
役員報酬支出	958	1,332	△374	水族館管理運営事業費支出の説明 人件費 70,574 施設維持管理経費 45,971 宣伝活動費 14,546 租税公課 3,060 クーポン券等手数料 1,263 展示魚収集飼育経費 3,347 入場券印刷経費 1,190 車両リース等経費 2,392 イベント開催経費 3,214 電話郵便等通信費 945 電気・機械設備等修繕費 17,270 調査研究費 602 アイヌ文化体験型プログラム創出事業 5,500 その他経費 3,725
給料手当支出	57,825	48,433	9,392	
賃金支出	1,286	9,436	△8,150	
福利厚生費支出	10,560	10,184	376	
会議費支出	60	60	0	
旅費交通費支出	1,711	3,658	△1,947	
通信運搬費支出	1,088	1,088	0	
消耗品費支出	7,888	8,045	△157	
修繕費支出	17,270	15,223	2,047	
印刷製本費支出	661	745	△84	

(単位：千円)

大 科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
光熱水費支出	25,252	25,535	△283	
使用料及び賃借料支出	2,567	2,880	△313	
車両経費支出	2,392	2,402	△10	
保険料支出	2,151	1,856	295	
手数料支出	1,263	2,438	△1,175	
諸謝金支出	321	321	0	
交際費支出	50	100	△50	
食糧費支出	50	50	0	
宣伝広告費支出	11,904	15,479	△3,575	
イベント費支出	5,964	4,644	1,320	
委託料支出	15,923	16,443	△520	
外注費支出	1,320	0	1,320	
原材料費支出	330	330	0	
租税公課支出	3,060	11,515	△8,455	
負担金支出	1,248	1,242	6	
雑支出	497	526	△29	
事業活動支出計 (B)	193,550	207,280	△13,730	
事業活動収支差額 (A) - (B)	17,235	33,885	△16,650	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	24,200	25,740	△1,540	
1 減価償却引当資産取崩収入	6,930	14,300	△7,370	
2 修繕料積立資産取崩収入	17,270	11,440	5,830	
投資活動収入 計 (C)	24,200	25,740	△1,540	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	33,933	43,475	△9,542	
1 退職給付引当資産取得支出	1,933	1,475	458	
2 減価償却引当資産取得支出	12,000	21,000	△9,000	
3 修繕料積立資産取得支出	20,000	21,000	△1,000	
② 固定資産取得支出	6,930	14,300	△7,370	
1 機械装置購入支出	2,200	11,000	△8,800	
2 什器備品購入支出	4,730	3,300	1,430	
投資活動支出 計 (D)	40,863	57,775	△16,912	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△16,663	△32,035	15,372	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他の財務活動支出	572	1,850	△1,278	
1 1年以内リース債務返済支出	572	1,850	△1,278	
財務活動支出 計 (F)	572	1,850	△1,278	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△572	△1,850	1,278	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書（法人会計）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
⑤ 補助金等収入	10,772	11,455	△683	
1 管理費補助金収入	10,567	11,320	△753	
2 特定資産取得補助金収入	205	135	70	
事業活動収入 計（A）	10,772	11,455	△683	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	10,567	11,320	△753	
1 一般管理費支出	10,567	11,320	△753	
役員報酬支出	2,907	3,655	△748	一般管理費支出の説明 人件費 7,744 光熱水費等施設管理費 1,439 財務会計システムリース料 588 税理士報酬等経費 515 その他経費 281
給料手当支出	3,850	3,522	328	
福利厚生費支出	987	1,043	△56	
会議費支出	20	20	0	
通信運搬費支出	23	23	0	
消耗品費支出	55	55	0	
光熱水費支出	1,439	1,456	△17	
使用料及び賃借料支出	588	588	0	
保険料支出	120	98	22	
諸謝金支出	515	515	0	
租税公課支出	50	332	△282	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計（B）	10,567	11,320	△753	
事業活動収支差額（A）-（B）	205	135	70	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入 計（C）	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	205	135	70	
1 退職給付引当資産取得支出	205	135	70	
投資活動支出 計（D）	205	135	70	
投資活動収支差額（C）-（D）	△205	△135	△70	
当期収支差額	0	0	0	

正味財産増減予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

○ 統括表

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増△減額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
② 特定資産運用益	2	2	0	
特定資産受取利息	2	2	0	
③ 受取会費	7,630	9,620	△1,990	
個人会員会費収益	6,630	8,820	△2,190	
法人会員会費収益	1,000	800	200	
④ 事業収益	62,399	101,839	△39,440	
教育事業収益	483	999	△516	
水族館管理運営事業収益	61,466	100,140	△38,674	
体験料収益	450	700	△250	
⑤ 受取補助金等	158,739	140,144	18,595	
教育事業補助金	19,468	22,316	△2,848	
水族館管理運営事業補助金	87,301	63,381	23,920	
管理費補助金	10,567	11,320	△753	
特定資産取得補助金	2,138	1,610	528	
受取補助金等振替額	39,265	41,517	△2,252	
⑥ 雑収益	51	531	△480	
受取利息	1	1	0	
雑収益	50	530	△480	
経常収益計	228,822	252,137	△23,315	
(2) 経常費用				
① 事業費	226,280	241,696	△15,416	
役員報酬	1,278	1,776	△498	
給料手当	71,653	62,451	9,202	
臨時雇賃金	1,286	9,436	△8,150	
退職給付費用	1,933	1,475	458	
福利厚生費	13,083	12,686	397	
報償費	369	1,624	△1,255	
会議費	60	60	0	
旅費交通費	1,734	3,785	△2,051	
通信運搬費	1,212	1,281	△69	
減価償却費	30,797	32,941	△2,144	
消耗品費	8,300	9,033	△733	
修繕費	17,270	15,223	2,047	
印刷製本費	705	928	△223	
光熱水費	25,271	25,577	△306	
使用料及び賃借料	3,057	3,859	△802	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,385	3,396	△11	
保険料	2,223	2,018	205	
手数料	1,267	2,442	△1,175	
諸謝金	321	321	0	
交際費	50	100	△50	
食糧費	307	704	△397	
宣伝広告費	11,904	15,479	△3,575	
イベント費	5,964	4,644	1,320	
委託料	15,923	16,443	△520	
原材料費	330	341	△11	
租税公課	3,060	11,515	△8,455	
負担金	1,652	1,563	89	
外注費	1,320	0	1,320	
雑費	566	595	△29	
② 管理費	11,305	12,014	△709	
役員報酬	2,907	3,655	△748	
給料手当	3,850	3,522	328	
退職給付費用	205	135	70	
福利厚生費	987	1,043	△56	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	23	23	0	
減価償却費	533	559	△26	
消耗品費	55	55	0	
光熱水費	1,439	1,456	△17	
使用料及び賃借料	588	588	0	
保険料	120	98	22	
諸謝金	515	515	0	
租税公課	50	332	△282	
雑費	13	13	0	
経常費用計	237,585	253,710	△16,125	
当期経常増減額	△ 8,763	△1,573	△7,190	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,763	△1,573	△7,190	
一般正味財産期首残高	254,944	257,277	△2,333	
一般正味財産期末残高	246,181	255,704	△9,523	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	32,000	42,000	△10,000	
一般正味財産への振替額	39,265	41,517	△2,252	
当期指定正味財産増減額	△ 7,265	483	△7,748	
指定正味財産期首残高	226,465	223,869	2,596	
指定正味財産期末残高	219,200	224,352	△5,152	
Ⅲ 正味財産期末残高	465,381	480,056	△14,675	

正味財産増減予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	1	0	1	1	0	
基本財産受取利息	1		1	1	0	
② 特定資産運用益	2	0	2	2	0	
特定資産受取利息	2		2	2	0	
③ 受取会費	7,630	0	7,630	9,620	△1,990	
個人会員会費収益	6,630	0	6,630	8,820	△2,190	
法人会員会費収益	1,000	0	1,000	800	200	
④ 事業収益	62,399	0	62,399	101,839	△39,440	
教育事業収益	483	0	483	999	△516	
水族館管理運営事業収益	61,466	0	61,466	100,140	△38,674	
体験料収益	450	0	450	700	△250	
⑤ 受取補助金等	147,967	10,772	158,739	140,144	18,595	
教育事業補助金	19,468	0	19,468	22,316	△2,848	
水族館管理運営事業補助金	87,301	0	87,301	63,381	23,920	
管理費補助金	0	10,567	10,567	11,320	△753	
特定資産取得補助金	1,933	205	2,138	1,610	528	
受取助成金	0	0	0	0	0	
受取補助金等振替額	39,265	0	39,265	41,517	△2,252	
⑥ 雑収益	51	0	51	531	△480	
受取利息	1	0	1	1	0	
雑収益	50	0	50	530	△480	
経常収益計	218,050	10,772	228,822	252,137	△23,315	
(2) 経常費用						
① 事業費	226,280	0	226,280	241,696	△15,416	
役員報酬	1,278	0	1,278	1,776	△498	
給料手当	71,653	0	71,653	62,451	9,202	
臨時雇賃金	1,286	0	1,286	9,436	△8,150	
退職給付費用	1,933	0	1,933	1,475	458	
福利厚生費	13,083	0	13,083	12,686	397	
報償費	369	0	369	1,624	△1,255	
会議費	60	0	60	60	0	
旅費交通費	1,734	0	1,734	3,785	△2,051	
通信運搬費	1,212	0	1,212	1,281	△69	
減価償却費	30,797	0	30,797	32,941	△2,144	
消耗品費	8,300	0	8,300	9,033	△733	
修繕費	17,270	0	17,270	15,223	2,047	
印刷製本費	705	0	705	928	△223	
光熱水費	25,271	0	25,271	25,577	△306	
使用料及び賃借料	3,057	0	3,057	3,859	△802	

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,385	0	3,385	3,396	△11	
保険料	2,223	0	2,223	2,018	205	
手数料	1,267	0	1,267	2,442	△1,175	
諸謝金	321	0	321	321	0	
交際費	50	0	50	100	△50	
食糧費	307	0	307	704	△397	
宣伝広告費	11,904	0	11,904	15,479	△3,575	
イベント費	5,964	0	5,964	4,644	1,320	
委託料	15,923	0	15,923	16,443	△520	
原材料費	330	0	330	341	△11	
租税公課	3,060	0	3,060	11,515	△8,455	
負担金	1,652	0	1,652	1,563	89	
外注費	1,320	0	1,320	0	1,320	
雑費	566	0	566	595	△29	
② 管理費	0	11,305	11,305	12,014	△709	
役員報酬	0	2,907	2,907	3,655	△748	
給料手当	0	3,850	3,850	3,522	328	
退職給付費用	0	205	205	135	70	
福利厚生費	0	987	987	1,043	△56	
会議費	0	20	20	20	0	
通信運搬費	0	23	23	23	0	
減価償却費	0	533	533	559	△26	
消耗品費	0	55	55	55	0	
光熱水費	0	1,439	1,439	1,456	△17	
使用料及び賃借料	0	588	588	588	0	
保険料	0	120	120	98	22	
諸謝金	0	515	515	515	0	
租税公課	0	50	50	332	△282	
雑費	0	13	13	13	0	
経常費用計	226,280	11,305	237,585	253,710	△16,125	
当期経常増減額	△ 8,230	△ 533	△ 8,763	△1,573	△7,190	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,230	△ 533	△ 8,763	△1,573	△7,190	
一般正味財産期首残高	—	—	254,944	257,277	△2,333	
一般正味財産期末残高	—	—	246,181	255,704	△9,523	
II 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	32,000	0	32,000	42,000	△10,000	
一般正味財産への振替額	39,265	0	39,265	41,517	△2,252	
当期指定正味財産増減額	△ 7,265	0	△ 7,265	483	△7,748	
指定正味財産期首残高	226,465	0	226,465	223,869	2,596	
指定正味財産期末残高	219,200	0	219,200	224,352	△5,152	
III 正味財産期末残高	—	—	465,381	480,056	△14,675	

令和3年度 資金計画書

(単位：千円)

受入資金		支払資金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	1	事業費支出	175,550
特定資産運用収入	2	管理費支出	10,537
事業収入	61,949	特定資産取得支出	34,138
会費収入	7,630	固定資産取得支出	6,930
補助金等収入	151,474	その他財務活動支出	572
雑収入	51	未払金	18,030
特定資産取崩収入	24,200	預り金	14,000
未収金	450		
預り金	14,000		
合 計	259,757	合 計	259,757
		差 引	0